

第4章 数値目標の設定

障がいのある人の自立を支援する観点から、「地域生活移行」や「就労支援」といった課題に対応する計画となるよう、国の基本方針を踏まえた上で、本市の実情及び障がい者等のニーズに応じて、平成29年度の数値目標を設定し、必要なサービス量を見込みます。

1 福祉施設の入所者の地域生活への移行

(1) 施設入所からグループホーム（※3）、一般住宅等への地域移行

| 項目 | 数値 | 備考 |
|-------------------|-------|--|
| 当初の全入所者数 | 53人 | 平成26年3月時点での全入所者数 |
| 現在の全入所者数 | 54人 | 平成26年7月時点での全入所者数 |
| 【目標値】 地域生活移行者数 | 4人 | 当初の入所者のうち、目標年度までに施設入所からグループホーム、一般住宅等へ地域移行が見込める入所者数 |
| | 7.55% | |

目標値の考え方

施設入所している者に対する支援の社会資源確保が厳しい状況ではありますが、第2期計画後期以降、施設入所から3名の者がグループホームへ地域移行した実績があります。

目標年度の平成29年度末においては、これまでの実績と本市の実情を踏まえ、更に地域移行への整備が図られると思われまますので、平成25年度末時点の施設入所者53名のうち、4名が地域移行するものとして目標値を設定します。

(2) 施設入所者の削減

| 項 目 | 数 値 | 備 考 |
|----------------------|-------|---------------------|
| 当初の全入所者数 | 53人 | 平成26年3月時点での全入所者数 |
| 現在の全入所者数 | 54人 | 平成26年7月時点での全入所者数 |
| 目標年度全入所者数 | 51人 | 平成29年度末時点での施設入所者見込数 |
| 【 目 標 値 】 減 少 見 込 | 2人 | 差引減少見込数 |
| | 3.77% | |

目標値の考え方

ここで設定する施設入所者の削減とは、前記以外における削減（他管内転出、長期入院、介護保険施設入所及び死亡等）の目標値となります。

第2期計画後期以降、1名の他管内転出、1名の長期入院による退所、1名の死亡の計3名がありました。

目標年度の平成29年度末においては、これまでの実績と本市の実情を踏まえ、2名が減少するものとして目標を設定します。

2 福祉施設から一般就労への移行

| 項 目 | 数 値 | 備 考 |
|------------------------------|---------|--|
| 当初の年間一般就労移行者数 | 0人 | 平成24年度中に福祉施設を退所し、一般就労した人数 |
| 目標年度（平成29年度）の年間一般就労移行者数（人） | 1人 | 平成29年度において福祉施設を退所し、一般就労する者の数 |
| 【 目 標 値 】 目標年度の年間一般就労移行者数 | 1人 | 現在の入所者のうち、目標年度までに施設入所からグループホーム、一般住宅等へ地域移行が見込める入所者数 |
| | 100.00% | |

目標値の考え方

第2期計画後期以降、就労移行支援サービス利用者が6名おり、その内、福祉施設から一般就労移行した者は2名の実績がありました。

就労移行支援サービスの事業所が市外にあり、本市の実情として移行促進

は依然厳しい状況にあります。

現在、市外就労移行支援サービス利用者は3名おり、この中から、サービス支給決定期間満了までに一般就労に結び付けられることを期待し、目標年度の平成29年度末においては、1名が一般就労するものとして目標を設定します。

3 就労移行支援事業の利用者数

| 項目 | 数値 | 備考 |
|-------------------------|------|----|
| 平成25年度、就労移行支援事業所を利用する人数 | 2人 | |
| 平成29年度就労移行支援を利用している人数 | 3人 | |
| 割合 | 150% | |

目標値の考え方

道においては、利用者のうち2割以上の者が就労移行支援に移行することを基本として、実績及び地域の実情に合わせて設定することとされている。

本市においては、現状施設からの聞き取り、利用者のニーズの実情等を考慮した場合、2割以上の移行は見込めないことから、地域実情に合わせて現状を基本として設定する。